報道発表

令和６年３月22日
名古屋税関
中部空港税関支署

令和６年２月分　中部空港　貿易概況（速報）の要旨

令和６年２月分について、輸出は「半導体等電子部品」、「重電機器」などが減少したものの、「自動車の部分品」、「原動機」、「電気回路等の機器」などが増加したことから対前年同月比13.5%の増加となった。また、輸入は「事務用機器」、「絶縁電線及び絶縁ケーブル」などが減少したものの、「半導体等電子部品」、「原動機」、「有機化合物」などが増加したことから、同32.5%の増加となった。
その結果、差引額は７１億円の輸出超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,033億円	＋13.5%	962億円	＋32.5%	71億円	▲61.5%
	14ヵ月ぶりの増加		9ヵ月連続の増加			

			概況品名	金額	伸率				概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	（１）	自動車の部分品	51億円	＋135.2%	輸入	増加品目	（１）	半導体等電子部品	180億円	＋69.3%
		（２）	原動機	54億円	＋29.6%			（２）	原動機	175億円	＋31.0%
		（３）	電気回路等の機器	54億円	＋28.8%			（３）	有機化合物	44億円	＋419.9%
	減少品目	（１）	半導体等電子部品	121億円	▲15.6%		減少品目	（１）	事務用機器	19億円	▲26.1%
		（２）	重電機器	9億円	▲68.4%			（２）	絶縁電線及び絶縁ケーブル	10億円	▲28.2%
		（３）	医薬品	5億円	▲51.0%			（３）	航空機類	28億円	▲10.2%
	主要地域増減		アメリカ、EUが増加、アジアは減少				主要地域増減		アジア、アメリカ、EUが増加		

（参考）ドルレートは、１４８．１８円（前年同月比１３．７%、１７．８円の円安）であった。
（注）　月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。